

# しみずの教育 ちよっといい話

【平成28年10月号】

清水小学校

校長 山下 勇

## 清水町への感謝の気持ちと願いをメッセージで伝える

9月18日（日）、ハーモニープラザで町商工会主催による「がんばろう！清水町昼食会」が開催され、多くの町民が集っていました。この機会に、学校にご支援・ご協力をいただいた多くの方々に感謝の気持ちと町が元気になることを願い、全校児童からのメッセージを伝えさせていただきました。少しでも、子どもたちの気持ちと願いが伝わっていただければ幸いです。子ども一人ひとりが、水の大切さや当たり前の生活ができることのありがたさ、人の温かさなどを実感することができたことは貴重な経験となりました。



全校で感謝と明日への願いを綴ったメッセージ！

## 北海道の代表選手として選出

サッカーのナショナルトレセンU-12北海道代表選手として、6年生のH・Y君が選出されました。凄いことです。このことは、日々少年団での練習に一生懸命に取り組んだことやチームメイトと切磋琢磨して、技術・体力が向上したこと、指導者を尊敬し仲間を大切にしている気持ちなど豊かな心を身に付けていることが評価され、認められたものと思います。

清水、十勝の代表としてプレーの中で、H君らしさを存分に発揮し、大いに活躍することを期待しているところです。

### 〈H・Y君の意気込みと抱負〉

前の日韓交流大会では、全ぜん試合に出場できず、くやしい思いをしたので、今回はたくさん自分のプレーをしてアピールしていきたいと思います。自分より大きな選手にも体当たりで負けないようにして、どんどん声を出していきたいと思います。がんばってきます。

## 優秀賞受賞 おめでとう

今年度の「地域安全標語」作品募集に、3年生以上の全児童で取り組み出品しました。その結果、10名の子どもたちが「優秀賞」を受賞しました。子ども一人ひとりが、短文の中に「自分の命は自分で守ること」の大切さや「安全で安心な清水町であること」の願いを込めた標語を作成しました。この取り組みを通して、子どもたち自身の安全意識を高めるとともに、自分の町の安全や安心を考えるよいきっかけとなりました。

受賞者の作品を紹介いたします。

- 6年 I・Sくん 「犯罪は 軽い気持ちが 重い罪」  
6年 T・Mさん 「犯罪は みんなの心 傷つける」  
6年 I・Aくん 「犯罪は 自分もまわりも 苦しめる」  
6年 T・Tくん 「不審者の あまい一言 のらないで」  
5年 K・Mさん 「あいさつで 増える笑顔 減る犯罪」  
5年 K・Tくん 「通学路 しっかり守って 登下校」  
4年 K・Hさん 「あぶないよ 一人で夜道は あぶないよ」  
4年 H・Aさん 「危険です あぶないところ 近寄るな」  
4年 S・Hくん 「気をつけよう 戸じまりしっかり 確認を」  
3年 N・Yさん 「おるすばん ピンポン鳴っても 戸はあけぬ」

御影小学校



## 開校 100 周年の重み、子どもたちのために

校長 近藤 弘子

台風10号がもたらした被害は、1ヶ月たった今も営農用水、石勝線、日勝峠、水に浸かったままの畑、日常使用している道路・橋など復旧の見通しが立たないところが多く、さらに2名の方の行方が未だにわからず、日を増す毎に厳しい現実がわかってきています。今まで当たり前と思っていたことが、当たり前ではなく、長年に渡り積み重ねてきた貴重な偉業だったということに改めて感じました。この度の台風により被害を受けられた皆様へ、謹んでお見舞い申し上げます、一日も早い復旧をされますよう心からお祈り申し上げます。

2学期に入り開校100周年の記念行事に向けて走り出そうとした矢先のこの災害。学校としても地域の皆様の気持ちを考えるとどうしたらいいものかと立ち止まってしまいました。

御影小学校は、台風による被害はありませんでしたが、この学校を支えて下さる保護者・地域の方々の中に被災され、困っている方がいる中での開校100周年のお祝いはいかがなものかと迷い、関係機関の皆様にも相談させていただきました。3週間ほど100周年事業をどう進めるか考える時間をもちました。

9月21日(水)に行われた開校100周年事業協賛会推進委員会で田中会長さんを中心に、委員の皆様で1時間以上慎重に審議をしていただきました。その結果、「被災された方の気持ちをくみ取りながら、100周年の節目としての重みと子どもたちのために実施する」という結論になりました。式典・祝賀会が御影の皆さんの活力になればと思います。

11月26日(土)の開校100周年記念式典・祝賀会まで2ヶ月を切りました。式典・祝賀会の成功に向け、役員一同みんなで心一つに力を合わせて、急ピッチで準備を進めて参ります。

子どもたちの心にしっかり残る100周年事業になりますようPTA・地域の皆様のご協力ご支援よろしくをお願い致します。



全校児童140名をドローンで撮影

## 清水中学校

校長 宝 輪 博 継

8月末の台風被害。生徒自ら動き出したボランティア活動を受けて、学校では前期評価日程を1ヶ月程延期して、期末テストを文化祭あけに実施することを決定し、生徒・保護者の理解をいただきました。

生徒のボランティア活動の様子は、新聞やTVでも報道していただきましたし、公式ブログでも紹介させていただきました。生徒たちが、地域の一員としての自覚や、中学生の自分たちにもできること、なすべきことを学ばせていただいたボランティア活動ですが、帯広市内の中学校から、写真を道德の授業に使わせてほしいという依頼や、北海道中学校長会の会議の場でも、活動を賞賛するご紹介をいただきました。ありがたいことです。

2週間あまりの苦しい断水生活と同時に進められた文化祭準備活動。この間、学校にはたくさんの飲料水やタオル等の寄贈をいただきましたし、住宅が被災した家庭にも、制服・ジャージ・副教材など、様々な支援をいただきました。もちろん、それで事足りるわけもなく、本校PTAでは義援金の募集活動もしていただきました。心から感謝申し上げます。

そして迎えた9月25日(日)文化祭。恒例の全校生徒による第九合唱でのオープニングのあと、生徒会書記局から文化祭テーマの発表がありました。テーマはポスターに記された「輝～清中生の歌と共に」だったのですが、そこには新たなメッセージが加えられていました。

**「ふりむくな。光は前にある。切り拓こう。歌と共に。輝け。清水町」**

中学校の文化祭。いつもなら生徒や校内に向けられるテーマやメッセージが、清水町への、町民の皆さんに向けられた応援メッセージとなっていました。断水こそ復旧したものの、道路や橋、住宅、畑などの被害は大変なもので、それらが完全に復旧するには、どれだけの年月がかかるかわかりません。

全校生徒がボランティア活動に取り組ませていただき、町民の皆さんの大変な状況を目の当たりにして、生徒は自分たちの生活ばかりでなく、愛する地域に目を向けられる生徒へと成長させていただいたのだと思います。

オープニングの「歓喜の歌」や、合唱コンクールで披露された学年、学級の歌は、生徒たちが「町民の皆さんに元気を届けよう」と精一杯、練習してきたものです。

きっと、届いたはずです。



## 成長が感じられた文化祭

9月24日(土)に行われた文化祭。生徒たちはそれぞれの自分の役割をしっかりとこなし、精一杯頑張りました。全校、学年合唱や生徒会企画の各学級のステージ発表、2、3年の代表として発表した英語暗唱、一人二役以上を見事に披露した演劇、みんなで協力して作成したちぎり絵やバザーなど生徒たちの頑張りが伝わってきました。この文化祭を通して、間違いなく生徒たちは一回り成長しています。文化祭で学んだたくさんをこれからの生活に生かしてほしいと願っています。



## 後期御影中生徒会発進！

9月29日(木)に生徒会役員選挙が行われ、立候補者全員が信任され、新生徒会が動き出しました。先輩たちの伝統を引き継ぎ、よりよい御影中生徒会を目指してください。立会演説会では、それぞれの候補者の皆さんは自分の思い、決意をしっかりと語ってくれました。自分たちの集団を自分たちで治めていくことを「自治」と言います。集団のレベルが高いといろいろな分野で生徒自身に任せられる部分も増えていきます。生徒たちの手でさらに御影中を発展させてほしいと願っています。そして、この生徒会役員選挙を皮切りに、生徒会活動の中心が2年生に移ります。すでに部活動の中心は2年生になっていますが、特に委員会などでは2年生が全校を引っ張ることになります。今の3年生に代わる全校のリーダーとしての活動を期待しています。



平成28年度 後期生徒会役員	
会長	K・R(2年)
副会長	N・M(2年)
書記	M・A(2年)
会計	S・Y(1年)

## 清水町英語暗唱大会

10月3日(月)、町内英語暗唱大会が御影中学校を会場に行われました。出場生徒4名は1学期のうちから、それぞれの学年の指定する課題に取り組んできました。出場生徒にとっては、生徒や先生、保護者の聴衆の前で発表することは緊張するのは当然ですが、一人ひとりが緊張を感じさせないほどに素晴らしい発表を行ないました。清水高校の小松瞬先生とAETのフィリップさんが審査にあたりましたが、いずれも甲乙つけがたい出来映えであり、全員が本番に備えて繰り返し練習を積んで来た努力の跡が感じられたと話されていました。3年生S・HさんとK・Yさんが、共に優秀賞に輝きました。



## 来春、何人来てくれるかな

### ～中学生179名を迎えて一日体験入学

10月4日（火）、一日体験入学を実施しました。今年は「ドリームチャレンジ宣言」をした年、昨年の134名に対して45名も多く中学生が来てくれました。清水中学校の3年生が全員で来てくれたのが大きいのですが、清水中学校は昨年より33名増ですから、全体に参加者が増えています。楽しく充実した学校紹介ができました。

本校の一日体験入学は生徒が主体、生徒会で全体の説明を運営し、廊下での案内も生徒が行います。今年は生徒会長、副会長が自己の体験やこれからの目標を交えて学校紹介、生徒会企画では部活動や各系列が普段着ているユニフォームでのファッションショー、それぞれが自分が今やっていることに自信を持ち、胸を張って、中学生の前を歩いてくれました。

その後、授業・施設見学や部活動見学等を行い、清水高校のありのままの姿を見ていただき一日体験入学を終了しました。生徒が授業を行う場面もありました。

保護者の方が39名、引率の先生も6名が参加されました。交通事情が悪い中、本当に有り難うございました。

校長からの挨拶、というのがあります。生徒諸君の笑顔での学校紹介で、校長が話すよりずっと正確に学校のことは伝わるのですが、中学校3年生のこれからの頑張りにエールを贈るつもりで、大きくは二つ、お話をさせていただきました。

来年度からの「ドリームチャレンジ宣言」は、実は今までも朝や放課後、一人からでも講習を実施し、それぞれの夢に向かって頑張っていた延長線上にあります。自分は、進学に、看護等の専門学校に、公務員等の就職に「頑張る」ことを宣言してもらい、そういう人を集めて授業を展開していこう、という計画で、習熟度別の編成等で「わかる授業」「発展的な授業」を行います。みんなで頑張り、もちろん、個に応じた講習も今まで通り開講します。

中学校3年生は、これから2カ月程で内申点が決まります。清水高校に来る来ないにかかわらず、今が頑張りどころ、というのがもう一つです。

将来、どんな職業に就くにせよ遊んで暮らせる人はいないわけで、「今でしょ！」という言葉こそ使いませんでしたが、今、頑張らない人が必要な時にきちんと頑張れますか、というお話です。加えて、何のために勉強するのか。どんな職業でも基礎的な知識からスタートするわけで、今やっている勉強をおろそかにするわけにはいきません。看護師さんや教師を例に出しましたが、とても優しい看護師さんなんだけど、注射が下手だったり病気のことを知らなかったり、同じように生徒思いの先生なんだけど、授業がさっぱりわからなかったり、それでは困りますよね。

併せてこれからの社会では、他者とコミュニケーションがとれ、「協働」できる人が必要になります。こうしたことを身に付けることが必要です。

今回の台風被害、交通手段や水道等、様々な場面で専門の人が昼夜兼行で仕事をし、目に見えてライフラインが復旧しました。いつもは家庭におけるお父さん、お母さんが生徒のた

めにどれだけ頑張っているかを話しますが、子どもたちには身の回りの出来事を見つめ、将来、社会や家庭を支えられる人になって欲しい、そのために勉強しよう、と呼びかけています。

中学校3年生！今！頑張ってください。

10月1日（土）が82回目の開校記念日、10月3日（月）から後期の授業が始まりました。後期から生徒会役員も2年次生が中心となり、O・T 生徒会長以下12名の役員が中心で生徒会が運営されていきます。大きな仕事は12月10日（土）の合唱祭です。

これから1年間の任期、大いに成長してください。

生産技術系列の生徒が10月1、2日、「パン甲子園 2016 in いわみざわ」に出場し、昨年に続き準グランプリとなりました。「アンチョビ・ガーリックブレッド〜十勝若牛・牛すじ煮込みサンド〜」という作品で、生徒達のレシピで「マスヤ」さんが作っていただける話も飛び込んできました。

美術、書道、新聞の全道大会も行われ、生徒が様々な場面で活躍しています。



（一日体験入学）



（弓道部ファッションショー）



（授業体験）

## 園庭にはどんぐりがいっぱい！！

台風による災害から一か月がたちました。子供たちは元気に幼稚園での活動に取り組んでいます。

園庭でのサーキットあそびや、自由遊びでは思い切り体を動かしたり、創造性を発揮したりしていろいろなあそびを考えだして楽しんでいます。

今年は例年になくどんぐりが多く、子供たちが大喜びでドングリひろいに興じています。家に持ち帰っていますが…どんぐりの虫が出てきて騒ぎになっているかもしれません！！



## 町中央公園にみんなで行きました・・・



今年は雨が多く、なかなか歩く機会が少ないので、春の遠足で行くはずの中央公園にみんなで行くことにしました。異年齢でペアになり、いろいろな話をしたり、草や花、虫を見つけたりしながらの小旅行です。

公園では、滑り台やタイヤブランコ、シーソーに乗って楽しく過ごしました。

年長はさすがの健脚で、遊歩道を鬼ごっこしながら全力疾走していました。帰りには暖かさも増した道を町の方たちに見守られながら元気に帰ってきました。



## 楽しみにしていた動物園遠足

雨や水害後の心の不安定感などから延期していた帯広動物園への遠足に行ってきました。時折、小雨に見舞われましたが、元気いっぱいにキリンやトラ、フラミンゴなどを見て歩きました。見おわったクラスから遊具にも乗ることが出来ました。昼食を児童会館でとり、その後は展示室でいろいろな科学の展示物にふれ、楽しみました。帰りにはすっかり静かなバスの中でした。



## 教育委員会

平成28年度 第10回“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”を下記の通り開催します。参加いただきますようご案内申し上げます。

### 1 目的

清水町の児童・生徒の意見交流を通して、しみず「教育の四季」の趣旨の浸透を図り、未来を担う、町の宝である子どもたちの健全育成を目指した教育実践を町民総ぐるみで取り組むための方向性を探る。

### 2 主催

しみず「教育の四季」推進協議会・清水町教育委員会

### 3 日時

平成28年11月24日（木） 15:30～17:10

### 4 会場

清水町文化センター 1F 大集会室

### 5 参加者

- (1) 各小・中学校児童・生徒代表
- (2) 清水高等学校生徒代表
- (3) しみず「教育の四季」推進協議会役員
- (4) 町民・保護者

### 6 日程及び内容

15:30		17:10		
受付	開会	各学校の取組発表	意見交流	閉会
		各小・中・高の児童会及び生徒会の“しみず「教育の四季」”の取組内容とその成果及び課題等について発表	小・中・高の児童生徒と参加者の交流を図る。 *テーマ（いじめについて）	



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から  
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

**秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく**

**家庭・地域  
今月の取組  
学校は、朝の読書で  
心を落ち着かせ  
家庭は、夕べの読書で  
心の安定を！**